

令和5年度
自己点検・評価報告書

【対象期間】 自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

令和5（2023）年4月

学校法人創心会 西日本看護専門学校

本校では、自己点検・評価について、平成 29 年度まで「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・評価を実施してまいりました。さらに、平成 30 年度からは、より良い自己評価を目指して、看護学校の学校運営としての評価、及びその公表が適切であると判断し、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿った評価を行い、学校運営に関する現状・課題の把握、並びに改善策の検討・実施を通して教育の質の向上に努めております。この自己点検・評価報告書は、令和 4 年度の自己点検・評価の結果を記したものです。

1. 学校の教育目標

- 1) 人間を身体的、精神的、社会的、靈的に統合された存在として、また、生活者として理解できる。
- 2) 人間の生命と人間としての尊厳を尊重できる。
- 3) 豊かな感性をもち、人間関係を築き、発展させることができる。
- 4) 看護の対象を理解し、健康のあらゆる状態に応じて、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。
- 5) 保健・医療・福祉制度と多職種役割を理解し、多職種との協働を通じて看護師の役割を理解し、看護を実践できる。
- 6) 看護師としての倫理観をもち、責任ある行動をとることができる。
- 7) 看護を探究し、自ら学び続ける力を身につけることができる。
- 8) 専門職業人として社会性・自律性を身につけることができる。人間を、身体的・精神的・社会的・靈的に統合された、全人的存在として理解する能力を養う。

2. 令和 4 年度の重点目標とその評価

重点目標	評価
1) 新カリキュラムの運営と今後の準備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年次の新設科目については担当講師と連絡調整を行い、終了することができた。 ・ 看護技術の習得に向け、それぞれの技術の評価方法の検討を行い、演習や技術試験を行った。技術習得に向けた自己学習の支援や評価方法などの課題が残っている。 ・ 令和 5 年度開始の 2 年次の領域科目について、教育内容、教育方法の検討を全教員で行った。実施・評価については継続課題である。 ・ 実習指導要綱の作成を行い、ほぼ完成した。実際の活用は令和 5 年度以降となるため、その内容について評価し、改善していくことが課題である。 ・ 新カリキュラムでの令和 5 年度以降の新たな実習施設等について実習内容や方法について打ち合わせを行い、学生の実習受け入れに関する準備を進めていただいている。実習開始前には詳細について打ち合わせが必要である。
2) 令和 5 年度入学生に関する公募推薦入学試験の実施と評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学試験の志願者は毎年減少しており、令和 5 年度入学試験の志願者総数は前年度比 83%であり、入学者の確保が困難な状況となっている。 ・ この状況をふまえ、令和 5 年度入学生から指定校推薦入学試験に加え、公募推薦入学試験を実施した。公募推薦入学試験により推薦基準である評定平均値 3.8 以上の入学生の確保につながった。 ・ 一般入学試験の受験者は激減しており、令和 6 年度からは一般入学試験の時期を見直し、3 回実施する予定である。 ・ 18 歳人口が減少する中、社会人経験者を含め広く本校を知っていただき進学先として選択されるよう広報活動を進めていくことが課題である。

3) 新入生への早期からの学習指導を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者の減少に伴い、学力や生活背景、生活態度等多様な学生が入学している。その学生に対して学習指導や生活指導など多岐にわたる指導を行い、少しずつ学習姿勢が好転している。 ・しかし、学習意欲やクラス内での人間関係などが影響し、1年生は4名、2年生は1名の退学者が発生した。 ・今後も学習の支援、クラスの信頼関係の形成等の支援、個別面接などを実施し、退学希望者の減少に努めていく。
4) 新人教員の指導の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、新人教員を4名起用した。教員経験のある2名の教員と教員歴のない2名である。教員未経験の1名は、令和4年度福岡県専任教員養成講習会の受講が終了した。1名に関しては4月に退職したため後任を9月に1名採用した。 ・4名の教員ともに各領域の担当者の指導を受け、これまでのキャリアを活かした教育・指導が行えている。 ・専任教員養成講習会未受講の教員については、令和5年度の受講を計画している。
5) 新型コロナウイルス予防対策を講じ、教課外活動や学校行事の内容と開始時期を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月以降、感染症対策を実施しながらクラブ活動を再開した。各クラブとも部員は少ないが、楽しく活動が出来ている。 ・3年ぶりに学校祭を開催した。学内行事ではあったが、学年間の交流、行事の企画力、運営力、他者との協同など学生にとって大きな学びの機会となった。 ・令和4年度は、入学式、戴帽式、卒業式ともに規模を縮小したものとなった。令和5年度以降は、感染状況をふまえて来賓や保護者等の人数制限のない式典となるよう検討した上で開催する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

I. 教育理念・目標

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

教育理念、及び教育目的、教育目標、卒業時の学生像については、学生便覧に明記し、ホームページに公開している。教育理念に「ひとりひとりを大切に心のこもった看護を実践する」看護師の育成を掲げ、教育目的を「看護の実践者としての必要な知識と技術を教授し、学習活動を通じて看護の心と倫理観を育てるとともに社会人として調和のとれた人間教育を行い、地域に貢献できる看護師を育成する。」としている。新入生を迎えるにあたって、毎学生、保護者等に教育理念、教育目的、教育目標について説明を行い、また、学校見学会においては、本校の教育についての周知を図っている。

教育目標は、教育理念、教育目的に合致しており、教育目標はさらに中位目標、下位目標までを示し、本校の人材育成像を明確にしている。

シラバスには、教育理念、教育目的、教育目標、及び教育目標と授業科目の関連についても明示し、各授業開始時にその関連性を説明している。

社会のニーズに向けた将来構想については、地域医療構想や地域包括ケアシステムの推進に対応できる教育内容となっている。また、学生のレディネスを把握しながら、社会人基礎力を育成する教育を実施している。

令和4年度開始の新カリキュラムでは、地域包括ケアシステムの推進に向け、①多職種との連携強化が図れる実習内容とした、②急性期病院以外にも回復期・慢性期病院での実習が開始となる（老年看護実習）ため、実習施設との打ち合わせを行い、令和5年度の実習開始に向けた準備を行っている。また、地域・在宅看護論実習では多様な実習施設を確保し、社会のニーズに対応した看護師を育成する教育内容となっている。

II. 学校運営

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

(2) 状況および課題と改善策

本校は、学校法人として理事会・評議員会が適切に開催され、学校法人の収支、寄附金の受け入れ、役員・評議員の選任に関する事等、理事会・評議員会にて決定している。

学校運営については、毎月運営会議を開催し、学校運営に関する事項について会議にて審議している。教務会議は、毎週1回開催しており、教育に関する内容について協議し、決定している。

これら会議の運営については、寄附行為及び学則に明記しており、諸規程、学則、細則、内規については、毎年定期的にすべて見直し、整備している。

教育活動に関する情報は、本校のホームページに公開しており、定期的に更新している。

情報のシステム化については、各教職員へのパソコンの貸与と共に定期的なメンテナンスを行い、パソコン内に共有データを設け、業務の効率化を図れるよう運用体制を整えている。ただし、学生情報管理システムの構築がされていないことは検討課題である。

III. 教育活動

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

カリキュラムに関しては、学科、実習すべて教育理念に沿った内容である。教育理念に沿って看護の心を育てるカリキュラムを組んでおり、人間理解や人間関係論、人権意識の高揚を図る教育、また、看護観を育てるといった特色ある教育内容となっている。

実習においては、急性期病院での実習が充実している。あらゆるライフステージの人びとを理解するために、病院のみでなく様々な実習施設を確保し、理解を深めていける実習を組んでいる。また、授業科目、実習ともに実践とそのエビデンスが順序立てて学べるよう、体系的にカリキュラムを編成している。講義・実習では、シラバスや実習要綱による学生への事前の提示、その後の授業や実習指導の評価の実施、その結果の振り返りを行い、今後の指導に活かす一連の過程を実践している。

令和4年度開始の新カリキュラムでは、旧カリキュラムを評価し、さらに効率よく学べるよう体系的に講義・実習を編成している。また、回復期、慢性期看護を学べるよう実習を編成している。

令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策のため講義方法の工夫をおこなった。実習については、実習施設や病院との調整をしながら実習を行ったが、臨地での実習ができない時期や病院もあり、学内実習が多くなった。学内実習に切り替えた実習においても実習効果が図れるよう工夫しながら実習を終えている。実習の目標も達成している。

講義については、感染状況をふまえ、講義時期や講義方法について調整を行いつつ、1年間の講義を終えることができた。新型コロナウイルス感染症により長期間学校の欠席を余儀なくされる学生も

いたが、その学生については、講義はオンラインにて配信し、聴講できるよう、また登校可能となった後には個別に技術演習指導を行うなどの学習支援を行った。

単位認定については基準を定め、運営会議にて認定審議を実施している。実習に関しては、各実習施設において指導者会議を実施し、実習目的実習方法の打ち合わせ、実習中や実習終了後には指導内容や実習における全体的な評価を頂き、その後の実習指導に反映させている。

看護師国家試験に向けての指導体制については、カリキュラム内容（学科・実習）の充実を図るとともに、1年次後半より対策を実施しており、2年次からは模擬試験の実施、3年次においては頻回な模擬試験の実施と個別指導、長期休暇期間における集団指導等を実施している。

教員研修に関しては積極的に推奨しており、令和4年度においては、研修機会も増加したこともあり、前年度に比べ新たな教科等の研修や自己研鑽のための研修等に参加することができている。

令和4年度には新人教員を4名、教員事務補助者を1名起用した。教員については、教員経験のある2名の教員と教員経験がない2名である。教員未経験の1名については、令和4年度福岡県専任教員養成講習会の受講が終了した。1名に関しては4月に退職した。9月に新任の教員が入職し、令和5年度福岡県専任教員養成講習会を受講予定である。令和4年度末には3名の教員の退職があり、令和5年4月に3名の入職予定である。内2名は教員経験者であり、未経験者1名については令和6年度以降に専任教員養成講習会を受講予定である。

令和5年度は新カリキュラム運営と調整、新人教員の教育活動の支援が課題となる。

IV. 学修成果

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

令和4年度の看護師国家試験の合格率は100%であり、就職率とともに良好であることから、本校の教育水準は一定の水準に達していると言える。ただし、令和4年度から新カリキュラムとなっているため、学修成果を分析し、知識、技術、倫理観、社会性等について教育評価を行い、改善していく必要がある。

退学については、その原因を追究し、日々指導を振り返り、学生の学校生活への指導に活かしており、退学する学生は少しずつではあるが、減少傾向にある。令和4年度は5名の退学者がおり、その内3名が前期での退学となった。ほとんどは人間関係について悩み、早期に退学の決断をした。後期に退学した学生は学力低迷者や進路変更の学生であった。前年度同様、学生間の関係が希薄になったことも多少影響しているのではないかと推察している。

卒業生の動向については、卒業年の8月にホームカミングデイを開催し、卒業生の近況と就職後の動向を情報収集している。また、卒業生が就職した病院に卒業生の近況について尋ね、情報収集をしている。しかしながら、令和4年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、

ホームカミングデイを中止せざるを得なかった。卒業後の学修成果については、主たる実習病院での指導者会議において、本校の卒業生の現状を情報収集し、分析した結果を演習等に組み込み、キャリア教育の改善を図っている。

引き続き学生の面接や学習支援を行い、退学率が低減するよう取り組んでいきたい。

V. 学生支援

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者等と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

学生の相談体制・経済的支援・健康管理・課外活動に対する支援等は十分整っている。相談体制については、面接計画も整っており、必要時には随時面接を実施している。また、スクールカウンセリング室を開設し、学生の精神的支援を図っている。年間行事に関しては、入学式・戴帽式・卒業式は人数制限を行い実施している。また、令和4年度は学校祭も学内行事として規模を縮小したが実施することができた。学生にとっては学年間の交流を図るとともに、企画力・運営力、協同など学生の学びの機会となった。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断しながら学生同士が交流できるよう年間行事に限らず活動することを考えていく。

経済的支援については、奨学金制度や公共職業訓練等の教育訓練などを活用している。本校は高等教育修学支援新制度の対象機関であるため、制度を活用している学生も多にいる。なお、アルバイトは禁止し、公的支援給付金を受けられるよう支援を行った。

健康管理については、毎年5月に健康診査を実施し、健康管理について個別指導を実施している。また、インフルエンザ予防接種は学校負担で実施し、健康管理についての支援は、校医と協議しながら行っている。新型感染症コロナワクチンについては、病院と連携のもと希望者にワクチン接種を実施した。しかし、令和4年度は新型コロナウイルス感染症陽性者が多数発生した。ほとんどは家庭内感染によるものであり、学校内での感染事例はなかった。政府及び福岡県の方針に従って、3密を避けるよう授業方法の工夫や休憩場所の確保等を行い、校医と綿密な連絡を取りながら対応した。学生及び教職員が感染することのないよう、学生の生活指導も実施している。生活環境の改善にも引き続き取り組んだ。

課外活動は6つのクラブ活動があり、ストレス発散や教養を身につけ、余暇の善用の場となっている。令和2年度以降、活動を休止していたが、令和4年度は感染対策を講じ活動を再開した。クラブ活動に所属している学生は少ない状況であるが、楽しんで活動が出来ている。今後は、感染状況をみながら、楽しんで充実した活動ができるよう支援していきたい。

保護者等とは、学生の学習状況や、生活態度等の問題があるときに連携を取っている。また、年1回学生後援会を開催し、情報交換等を実施し、学校の情報公開に努めているが、令和2年度以降は書面会議となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生への支援が十分に行えなかった。

高校・高等専修学校等との連携については、令和2年度以降、高校・高等専修学校等からの要請がなかったが、令和4年度は、要請のあった高校にキャリア教育・職業教育の一環への参加、ガイダンス等を実施している。

VI. 教育環境

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

施設・設備・教材・備品等については、定期的に点検し、修繕、整備している。特に看護に関する教材については、より実際の場面に即した演習が実施できるよう「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」に示された数を上回る看護実習モデル人形やハイブリッドシミュレータを整備している。また、DVD教材等を整備し、効果的に活用できるよう環境整備を行っている。図書については、図書分類方法が古く現行のものを反映したものではなかったため、分類方法を検討し、再分類、整理に着手した。令和5年度中の整備終了を目指し取り組むこととしている。

実習施設においては、教育環境について実習先と調整し、環境を整えていただいている。また、感染症対策による講義・実習の変更に対応することができた。令和5年度から実習開始となる病院においても実習環境の整備について、調整を行っている。実習開始までには各病院と調整を終え、実習環境を整える予定である。

防災訓練を毎年1回必ず実施しているが、充実した訓練を実施しているのは火災訓練のみのため、今後はあらゆる災害を見越した訓練が必要である。災害時の対策に関する計画立案に基づき、訓練を実施している。

VII. 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1

学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
------------------	---	---	---	---

(2) 状況および課題と改善策

令和4年度学生募集については、学校見学会の実施と個別学校見学の対応、ホームページに情報公開、学校案内・学生募集要項の配布、進学相談会の参加を行った。個別学校見学会、入学選考に際し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、実施した。

令和3年度から受験者減少のため、推薦指定校を2校追加したが、受験者数は漸減している。そのため、令和5年度入学試験から公募推薦試験を導入し、一定数の入学生の確保につながった。しかし、前期・後期ともに一般入学試験の受験者は減少しており、特に、後期一般入学試験からの入学者が激減した。令和6年度からは、指定校推薦入学試験、公募推薦入学試験、社会人入学試験に加え、一般入学試験の時期を見直し、3回の実施予定である。18歳人口が減少する中、社会人経験者を含め広く本校を知っていただき進学先として選択していただけるよう広報活動を進めていきたい。

VIII. 財務

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

ホームページに公開している財務諸表のとおり、北九州病院グループの支援もあり、学校の財政基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中期的な財政基盤の安定に努めていく。事業年度開始にあたって作成する予算について、教育機器・教材の購入を年間の予算に計上し、計画的・優先的に購入し、予算の編成及び執行は適正に実施している。監査の実施については、私立学校法及び寄附行為に基づき、監事による会計監査が適切に行われている。財務情報は、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに公開している。

IX. 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

保健師助産師看護師学校養成所指定規則、専修学校設置基準・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの遵守と適正な運営を実施している。また、個人情報保護、ハラスメント防止等、規程を整備し、対策をとっている。

自己評価の実施は、自己点検・自己評価の委員を組織し、毎年実施しており、教職員全員が把握し、周知するよう指導している。自己評価結果については、ホームページに公開している。

X. 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	4	3	②	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

卒業生、医療従事者への図書室の開放、地域の講演等に本校の施設を開放するなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援しているが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、活動することができなかった。

令和4年度も福岡県専任教員養成講習会の講義・演習を引き受け、看護教員の育成に携わっている。コロナ禍において、本校が取り組める社会貢献・地域貢献の在り方を検討したが、新型コロナウイルス感染症の状況下では実施に至らなかった。今後の状況をふまえた取り組み体制を整えることが必要である。